

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		人工知能学科		科 目 区 分		基礎分野		授業の方法		実習	
科 目 名		テクニカルドキュメンテーションⅡ		必修/選択の別		必修		授業時数(単位数)		120 (4) 時間(単位)	
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限		通年		教室名		303教室	
担 当 教 員		若林 健一		実務経験と その関連資格		シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、企画書、設計書などの技術資料、プレゼンテーションなどを多数行っている。					
《授業科目における学習内容》											
前年度学内外で習得した技術や新しく身につけた技術、発見を文書化し外部に発信することを通して「人に情報を伝える」ことの難しさやそれを達成するために必要なことを学。											
《成績評価の方法と基準》											
課題 70% 年間を通して最低4テーマについてドキュメント化し公開する。 出席 20% 平常 10%											
《使用教材(教科書)及び参考図書》											
(参考文献)都度提示します ※各自特集したい技術についての記述がある文献を参照											
《授業外における学習方法》											
インターネット上のあらゆる技術資料を探し、分かりやすい資料の特徴を掴み、自身がこれから作成するドキュメントに反映させましょう。その為には、授業外の時間を有効に活用し、1つでも多くの文献に目を通すこと。											
《履修に当たっての留意点》											
技術1つを取っても、そこにはあらゆる基礎技術の上に成り立つものがほとんどである。すなわち選択した技術テーマを特集しドキュメント化するためには、これら基礎技術についての知識が必須であることを念頭に作業すること。											
授業の方法			内 容					使用教材		授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	情報共有サービスの基本習得					PC 情報共有サービス(Zennを想定)	なし		
		各コマにおける授業予定	情報共有サービスの基礎(1)								
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	情報共有サービスの基本習得					PC 情報共有サービス(Zennを想定)	なし		
		各コマにおける授業予定	情報共有サービスの基礎(2)								
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	情報共有サービスの利用					PC 情報共有サービス(Zennを想定)	なし		
		各コマにおける授業予定	GitHubと情報共有サービスの連携(1)								
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	情報共有サービスの利用					PC 情報共有サービス(Zennを想定)	なし		
		各コマにおける授業予定	GitHubと情報共有サービスの連携(2)								
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討1					PC 参考文献など	なし		
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(1)								

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討1	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(2)		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討1	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(3)		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討1	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(4)		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング1	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(1)		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング1	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(2)		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	ピアレビュー1	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事の相互レビュー(1)		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	ピアレビュー1	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事の相互レビュー(2)		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング1	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(3)		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング1	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(4)		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	全体レビュー1	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事のレビュー(1)		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		人工知能学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名		テクニカルドキュメンテーションⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限	通年	教室名	303教室
担 当 教 員		若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、企画書、設計書などの技術資料、プレゼンテーションなどを多数行っている。			
《授業科目における学習内容》							
前年度学内外で習得した技術や新しく身につけた技術、発見を文書化し外部に発信することを通して「人に情報を伝える」ことの難しさやそれを達成するために必要なことを学。							
《成績評価の方法と基準》							
課題 70% 年間を通して最低4テーマについてドキュメント化し公開する。 出席 20% 平常 10%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
(参考文献)都度提示します ※各自特集したい技術についての記述がある文献を参照							
《授業外における学習方法》							
インターネット上のあらゆる技術資料を探し、分かりやすい資料の特徴を掴み、自身がこれから作成するドキュメントに反映させましょう。その為には、授業外の時間を有効に活用し、1つでも多くの文献に目を通すこと。							
《履修に当たっての留意点》							
技術1つを取っても、そこにはあらゆる基礎技術の上に成り立つものがほとんどである。すなわち選択した技術テーマを特集しドキュメント化するためには、これら基礎技術についての知識が必須であることを念頭に作業すること。							
授業の方法		内 容				使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	全体レビュー1			PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事のレビュー(2)				
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討2			PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(1)				
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討2			PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(2)				
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討2			PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(3)				
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討2			PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(4)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング2	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(1)		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング2	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(2)		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	ピアレビュー2	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事の相互レビュー(1)		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	ピアレビュー2	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事の相互レビュー(2)		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング2	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(3)		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング2	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(4)		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	全体レビュー2	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事のレビュー(1)		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	全体レビュー2	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事のレビュー(2)		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	前期のまとめとふりかえり	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	前期のまとめとふりかえり(1)		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	前期のまとめとふりかえり	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	前期のまとめとふりかえり(2)		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	テクニカルドキュメンテーションⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	303教室
担 当 教 員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、企画書、設計書などの技術資料、プレゼンテーションなどを多数行っている。			
《授業科目における学習内容》						
前年度学内外で習得した技術や新しく身につけた技術、発見を文書化し外部に発信することを通して「人に情報を伝える」ことの難しさやそれを達成するために必要なことを学。						
《成績評価の方法と基準》						
課題 70％ 年間を通して最低4テーマについてドキュメント化し公開する。 出席 20％ 平常 10％						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
(参考文献)都度提示します ※各自特集したい技術についての記述がある文献を参照						
《授業外における学習方法》						
インターネット上のあらゆる技術資料を探し、分かりやすい資料の特徴を掴み、自身がこれから作成するドキュメントに反映させましょう。その為には、授業外の時間を有効に活用し、1つでも多くの文献に目を通すこと。						
《履修に当たっての留意点》						
技術1つを取っても、そこにはあらゆる基礎技術の上に成り立つものがほとんどである。すなわち選択した技術テーマを特集しドキュメント化するためには、これら基礎技術についての知識が必須であることを念頭に作業すること。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	後期導入		PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	前期の振り返りと後期の目標(1)			
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	後期導入		PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	前期の振り返りと後期の目標(2)			
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討3		PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(1)			
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討3		PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(2)			
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討3		PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(3)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討3	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(4)		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング3	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(1)		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング3	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(2)		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	ピアレビュー3	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事の相互レビュー(1)		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	ピアレビュー3	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事の相互レビュー(2)		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング3	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(3)		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング3	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(4)		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	全体レビュー3	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事のレビュー(1)		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	全体レビュー3	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事のレビュー(2)		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討4	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(1)		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		人工知能学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名		テクニカルドキュメンテーションⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限	通年	教室名	303教室
担 当 教 員		若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、企画書、設計書などの技術資料、プレゼンテーションなどを多数行っている。			
《授業科目における学習内容》							
前年度学内外で習得した技術や新しく身につけた技術、発見を文書化し外部に発信することを通して「人に情報を伝える」ことの難しさやそれを達成するために必要なことを学。							
《成績評価の方法と基準》							
課題 70％ 年間を通して最低4テーマについてドキュメント化し公開する。 出席 20％ 平常 10％							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
(参考文献)都度提示します ※各自特集したい技術についての記述がある文献を参照							
《授業外における学習方法》							
インターネット上のあらゆる技術資料を探し、分かりやすい資料の特徴を掴み、自身がこれから作成するドキュメントに反映させましょう。その為には、授業外の時間を有効に活用し、1つでも多くの文献に目を通すこと。							
《履修に当たっての留意点》							
技術1つを取っても、そこにはあらゆる基礎技術の上に成り立つものがほとんどである。すなわち選択した技術テーマを特集しドキュメント化するためには、これら基礎技術についての知識が必須であることを念頭に作業すること。							
授業の方法		内 容				使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第46回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討4			PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(2)				
第47回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討4			PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(3)				
第48回	実習形式	授業を通じての到達目標	対象テーマ検討4			PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	テーマ探索(4)				
第49回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング4			PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(1)				
第50回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング4			PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(2)				

授業の方法					
第51回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング4	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(3)		
第52回	実習形式	授業を通じての到達目標	ピアレビュー4	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事の相互レビュー(1)		
第53回	実習形式	授業を通じての到達目標	ピアレビュー4	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事の相互レビュー(2)		
第54回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング4	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(4)		
第55回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング4	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(5)		
第56回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティング4	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	記事テキストと素材の作成(6)		
第57回	実習形式	授業を通じての到達目標	全体レビュー3	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事のレビュー(1)		
第58回	実習形式	授業を通じての到達目標	全体レビュー3	PC 参考文献など	なし
		各コマにおける授業予定	作成した記事のレビュー(2)		
第59回	実習形式	授業を通じての到達目標	一年間の活動を振り返り、自身の成長を確認する	作成資料など	なし
		各コマにおける授業予定	一年間の振り返り(1)		
第60回	実習形式	授業を通じての到達目標	一年間の活動を振り返り、自身の成長を確認する	作成資料など	なし
		各コマにおける授業予定	一年間の振り返り(2)		